

ング帯)。このハン
グはボルトが連打さ
れており、直上して
凹角に入り込み小ミ
なレッジでビレイ。
三P目、凹角上の
小ハングを左側に乗
っ越しフエイスを直
上、第二ハング帯下
でアブミビレイ。
四P目、庇状二
段ハングを乗っ越し、
約二〇段登り小ハン

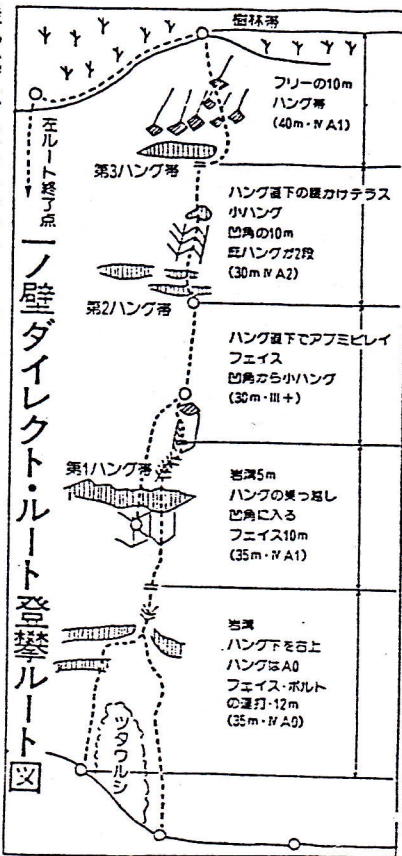
が打っており、ルートの間違える心配
はないが、ハーケンが古くなり甘いの
で要注意。四〇段いっばいで終了点の
樹林帯に達する。この時、下のビレイ
ヤー者まで声が届かないので苦労する。
下降は樹林帯を左側に降りて、左ル
ートの終了点から懸垂下降三回で第一
バンドに達する。

◆一ノ壁右ルート

右ルートの取付は中央稜基部から左
に約二〇段寄った地点。現在は右ルー
トのさらに右五段にバリニーションル
ートがあるので、これと間違えないよ
うに。取付から傾斜の強いフエイスで
ホールドが外傾し上部がかぶり気味だ
が、初登時のボルト連打によりプロテ
クションは完全だ。これを技けて傾斜
のやや緩いスラブを右に斜上して五段
の湿った岩罅を登ってテラスに出る。

中央稜釜石岳友会ルート

角に入りハングを越え四〇段いっばい
でレッジに立ってビレイ。ここはザイ
ルの流れが悪くなるので、中間で一
区切った方が快適だ。
五P目、登りはじめてすぐの小ハン
グ越えがむずかしい。高度感のある快
適なフエイスクライムが楽しめる。ハ
ング下は右にトラバースする。このト
ラバースは右側が切れ落ち、素晴らし
い高度感だ。ハーケンが甘いので要注
意。終了点は樹林の中で、中央稜ルー
トと合流。
(記・及川 恒)



乗っ越し、次のハング下を五層右上す
るとハングの切れ目に凹角がある。こ
こを登った傾斜の落ちた所にビレイポ
イントがある。
二P目、大きなフエイスから凹角
に導かれてハング下に達する(第一ハ
ング帯)。

二P目、凹角を一〇段直上、ハング
を左に巻くように乗っ越しカンテに取
りつき一五段、その後テラスでビレイ。
三P目、草付のある凹角一五段、小
ハングを越えフエイスを直上、灌木で
ビレイ。

四P目、この辺りから傾斜がややき
つくなり、ホールドの小さい凹角を直
上し、小ハング右側を越える。再び凹

角に入りハングを越え四〇段いっばい
でレッジに立ってビレイ。ここはザイ
ルの流れが悪くなるので、中間で一
区切った方が快適だ。
五P目、登りはじめてすぐの小ハン
グ越えがむずかしい。高度感のある快
適なフエイスクライムが楽しめる。ハ
ング下は右にトラバースする。このト
ラバースは右側が切れ落ち、素晴らし
い高度感だ。ハーケンが甘いので要注
意。終了点は樹林の中で、中央稜ルー
トと合流。
(記・及川 恒)

五P目、ハング下を右側に回り込む
ようにして、無数のハングの間を突破
する。要所要所にはボルト、ハーケン

中央稜釜石岳友会ルートは、林道か
ら眺めてもわかる一ノ壁と二ノ壁を分
けている顕著なレッジで、猿岩の初登
ルートである。アブローチは現在隧道
の入口右手の砂利道を採石場へ入って
行くのが一般的である。採石場から樹
林帯の中を踏跡が一ノ壁基部まで続い
ている。一ノ壁から二ノ壁へ大きく回
り込んだ地点が取付となる。
1P目、現在、ルートは三本とられ
ている。取付のレッジ左手を登る巨大
ルート、中央ルンゼから入るルート、
そして初登ラインである釜石岳友会ル
ートである。また、釜石岳友会ルート
から頭上のオーバーハングを登るルー